



湯梨浜学園 SSH NEWS

発行: 令和 7 年 9 月 9 日



第9号では8月前半に行われたプロジェクトを紹介します。
例年以上の猛暑となり、心配な面もありましたが、無事に実施できました。
いずれも貴重な経験となりました。

「地域の海洋環境保全プロジェクト」

8月1日(金)、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークである岩美町の海域にて、海の環境保全に関する理解を深め、科学的探究心の育成を図ることを目的に、中学1年生がSSH研修プログラムである「地域の海洋環境保全プロジェクト」を実施しました。



晴天の中、午前はカヤックを使用し、海側から日本海の荒波や風雪による浸食によって形成されたリアス式海岸の岩脈や浸食窪を観察しました。波によって露わになった地層を見て、自然の力強さを実感しました。

午後からのスノーケリングでは、水生生物調査を行いました。鳥取県の沿岸では、ムラサキウニの食害による藻場の減少で磯焼けの状況になっているなど、地球温暖化が海洋生物にも影響を及ぼしているといった身近な自然環境の課題に触れました。

次世代の自然環境を築いていく若い世代が、このような問題に気づき、課題解決の立役者になってくれることを期待しています。

「令和7年度SSH生徒研究発表会」

8月6日(水)7日(木)、神戸市においてSSH生徒研究発表会が行われ、本校より代表団として生徒6名が参加しました。この大会はSSH指定校および経験校が、日頃の探究活動の成果を発表、交流する場となっており、全国から200校以上の参加がありました。

本校は「有害鳥獣を有効再利用したお手軽なジビエ料理の開発と普及」をテーマとした研究を発表しました。

近年問題となっている鳥獣被害、駆除後の再利用率の減少、猟師の高齢化などの現状を踏まえ、有効活用できる方法を開発・普及し、地域活性化とも連動した鳥獣被害対策を研究したものです。

生徒たちは、ポスターセッションや聴講者への質疑応答を通してプレゼンテーションスキル向上が見られ、他校の発表からも多くの刺激を受けたようです。今後は、学んだことを周りの生徒に還元し、校内の発表内容およびスキル向上に繋がればと思います。

